

---

# 令和5年度 第21回アビリンピック徳島大会2023

## ビルクリーニング競技(A)課題 概要

---

### ◎一般的な注意事項

#### [共通事項]

1. 課題1の繊維床清掃終了後に、課題2の弾性床の課題に入ります。(全員が課題①を終えた後に課題②へ移行する。)
2. 2課題とも、時間が定められています。  
課題1: 7分で打ち切り  
課題2: 10分で打ち切り
3. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
4. 競技採点は、作業準備、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査し、加点方式によって行われます。
5. 作業に適した服装をしてください。
6. 作業開始の指示は競技委員が行います。
7. 作業毎に入退室を行う際に会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。
8. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。  
※始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合、挙手のみで構いません。
9. 課題1は残り2分で、課題2は残り3分でそれぞれ合図を出します。

### ◎課題1:繊維床清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画します。
2. 繊維床の除塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断したものを50ml程度まいたものとしします。
4. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

### ◎課題2:弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画します。
2. 床材質は塩化ビニール系の床面とします。
3. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし50ml程度まいたものとしします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

## ◎資機材の一覧表

### 1. 各競技場に準備されているもの

#### (1) 課題1

	品名	寸法または規格	数量	備考
①	真空掃除機	ポット型 リンレイRDエコ2型	1台	
②	机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
③	イス	会議用イス	1脚	
④	ゴミ箱	角型	1個	

#### (2) 課題2

	品名	寸法または規格	数量	備考
①	作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
②	作業標示板		1個	
③	ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
④	ラージ(モップ房)	260g 白色	1枚	
⑤	小型ぼうき	30cm幅用	1本	
⑥	乾式モップヘッド	63cm	1枚	
⑦	文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個	
⑧	タオル	無地 水拭き用(青色)1枚 無地 から拭き用(白色)1枚	2枚	
⑨	ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚	
⑩	ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚	
⑪	机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
⑫	イス	会議用イス	1脚	
⑬	ゴミ箱	角型	1個	

### 2. 競技者が持参するもの

	品名	寸法または規格	数量	備考
①	作業着(上・下)		1着	
②	作業帽又は三角巾		1個	
③	作業靴		1足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 繊維床清掃(作業時間:7分)  
作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。</li> <li>真空掃除機には、ウインドと吸い込み口がセットしてある。</li> <li>作業標示板は既に所定の位置に立ててある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照する。</li> <li>資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</li> </ul>	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 (真空掃除機)	<ol style="list-style-type: none"> <li>真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。</li> <li>室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり行う。</li> <li>ごみ箱は、持ち上げて除塵する。</li> <li>前進しながら除塵する。</li> <li>作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入口のゴミを踏まないよう広めに足場を確保する。</li> <li>吸込口を床に強く押し付けない。</li> <li>イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。</li> <li>掃除機本体は、手で持って移動する。</li> <li>プラグを持って抜く。</li> </ul>	<p>ゴミはシュレッダーで裁断したものを50ml程度均等にまいてある。</p> <p>掃除機のコードを持って抜かない。</p>
点検	指差しまたは目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等一礼して退室する。	
資機材の片付け	真空掃除機のコードを巻き、真空掃除機を保管場所に戻す。		
終了の挨拶	所定の位置の立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

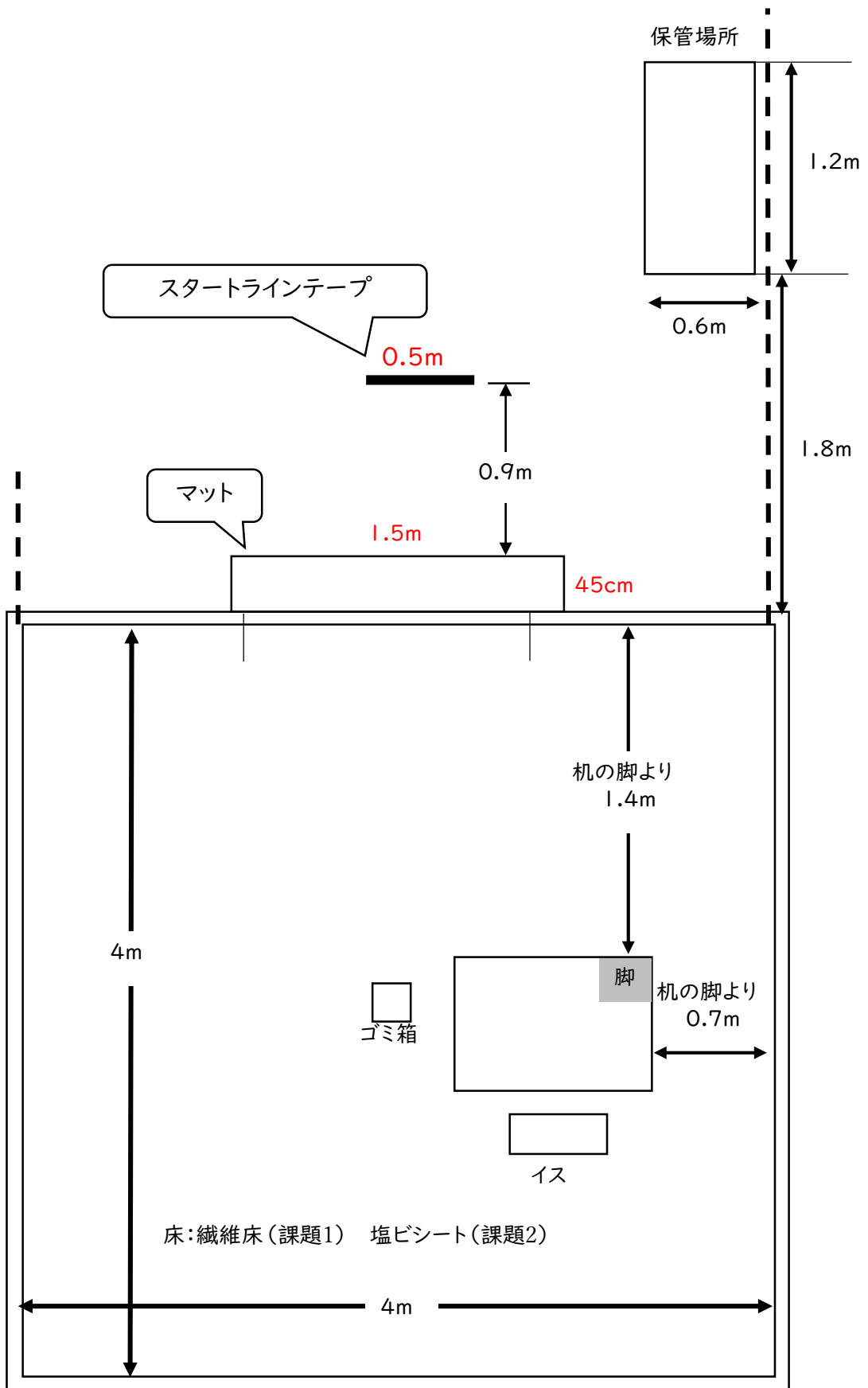
課題2 弾性床清掃及び机上清掃(作業時間:10分)  
作業仕様1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業に必要な資機材(タオル・モップ等)は、すでに作業カート(以下カート)上部に準備されている。</li> <li>① ワンタッチモップ柄(以下柄)の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。</li> <li>② ダスタークロスを乾式モップヘッド(以下ヘッド)に装着し、カート上部に置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</li> <li>・ 資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</li> </ul>	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	作業用カート(以下カート)を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。		
入室の挨拶	入口にて室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イス上げとゴミ処理 (1) イスをあげる (2) ごみの回収 (3) ゴミ袋のセット	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 作業前にイスを机上に上げる。</li> <li>② ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。</li> <li>③ 回収したビニール袋をカートの中に入れる。</li> <li>④ ビニール袋の替袋を取りだし、ゴミ箱にセットする。</li> <li>⑤ ゴミ箱を机上に上げる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机は動かさない。</li> <li>・ イスは机からはみ出さないように正しくのせる。</li> <li>・ ビニール袋を正しくセットする。</li> <li>・ ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。</li> </ul>	
除塵作業 (乾式モップ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄にとり付ける。</li> <li>② 乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</li> <li>③ 室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。</li> <li>④ ゴミは前進しながら出口に向かって1ヶ所に集める。</li> <li>⑤ ヘッドを柄から外す。</li> <li>⑥ 使用済みダスタークロスをヘッドから外し、カートの中に収納する。</li> <li>⑦ 柄とヘッドをカートに戻す。</li> <li>⑧ 小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたごみを回収する。</li> <li>⑨ ゴミの取り残しがないか点検する。</li> <li>⑩ 小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柄の先端には親指を添える。</li> <li>・ ヘッドの辺は広い方を先行させる。</li> <li>・ 入口のゴミを踏まないように足場を確保する。</li> <li>・ ヘッドは、床から離さない。</li> <li>・ 使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。</li> <li>・ ゴミの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</li> <li>・ ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミは、おがくずを50ml程度均等にまいてある。</li> <li>・ 点検の際に声は出さないこと。</li> </ul>

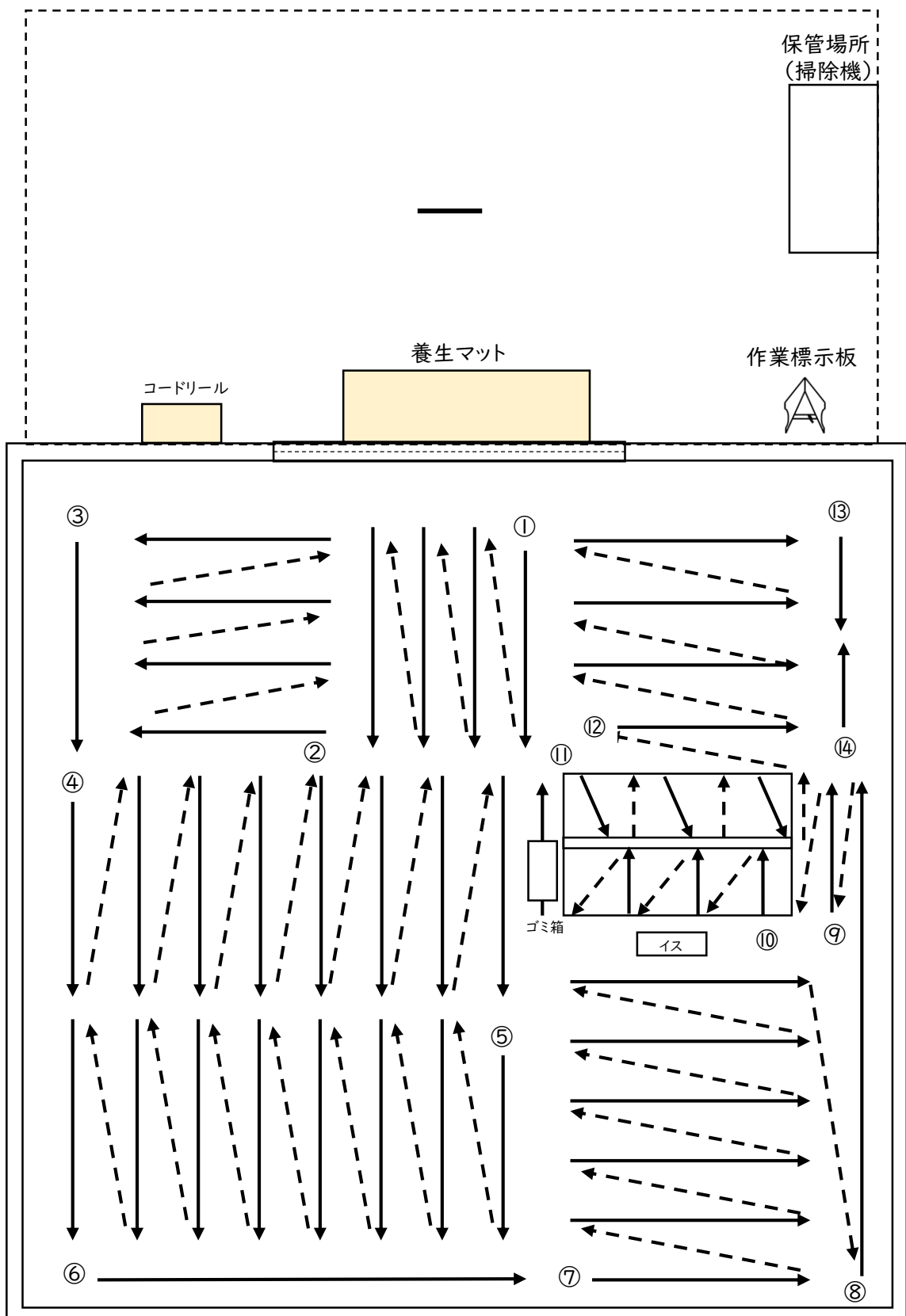
## 作業仕様1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き作業 (モップ)	① コート全体面積を拭く。 ② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。 ③ コーナー周りとし、机の足元は房系に手を添えて拭く。 ④ モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。</li> <li>・ 柄の先端には親指を添える。</li> <li>・ 房系が幅木、机の脚部に触れないようにする。</li> <li>・ 拭いたところを踏まないようにする。</li> </ul>	
ゴミ箱と いす下ろし	安全に音を立てないように下ろす。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	① 青色のタオルを八折にして持つ。 ② 机の上を青色のタオルで水拭きした後、白色のタオルでから拭きを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。</li> <li>・ 机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。</li> <li>・ 横拭き、縦拭きを行う。</li> </ul>	
点検	指差し又は目視点検を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。</li> </ul>	点検の際に声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の 片付け	作業標示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

# 標準配置図 (モデル)



# 繊維床作業手順



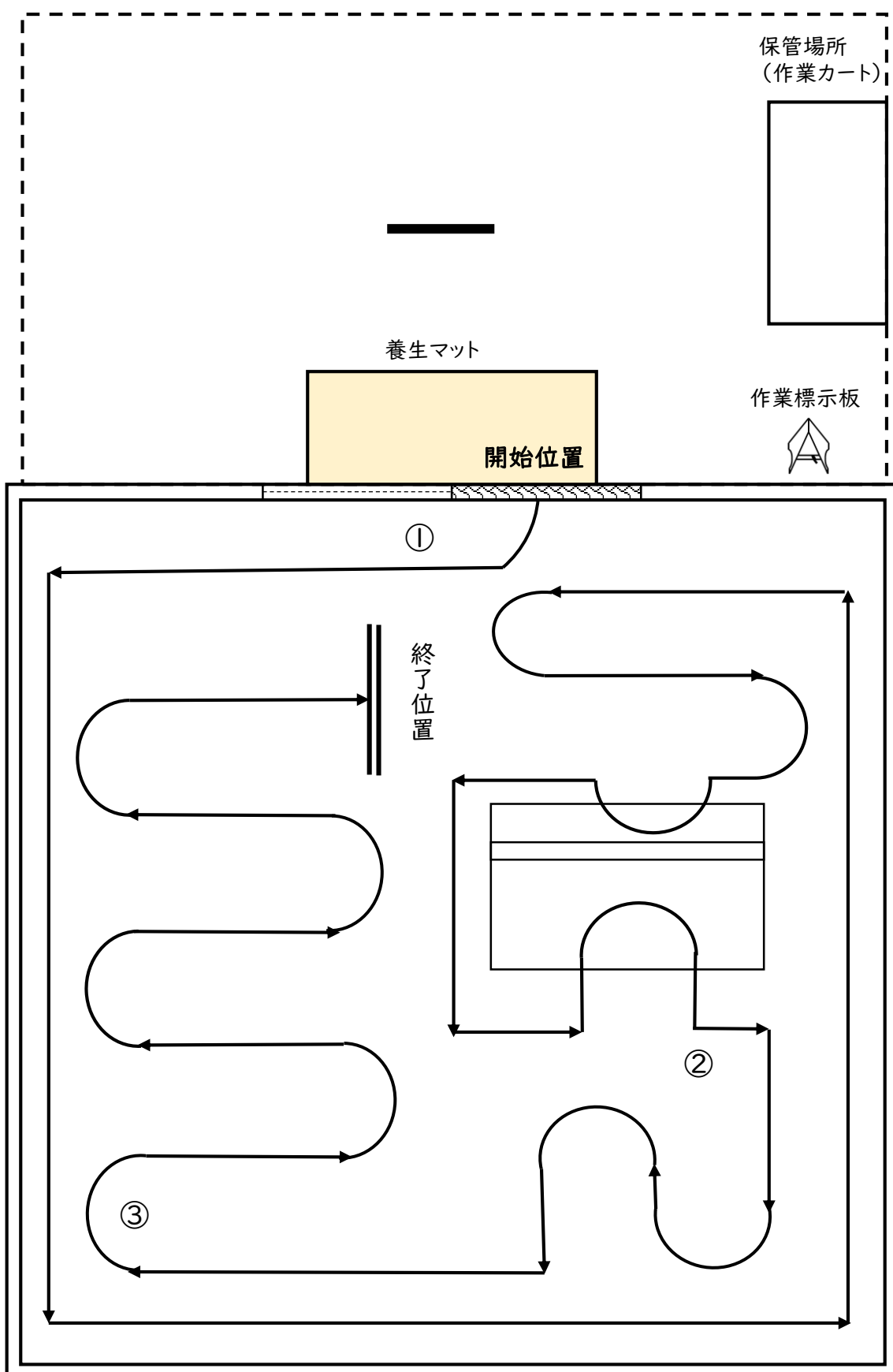
注意:作業の進行①-⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を1回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

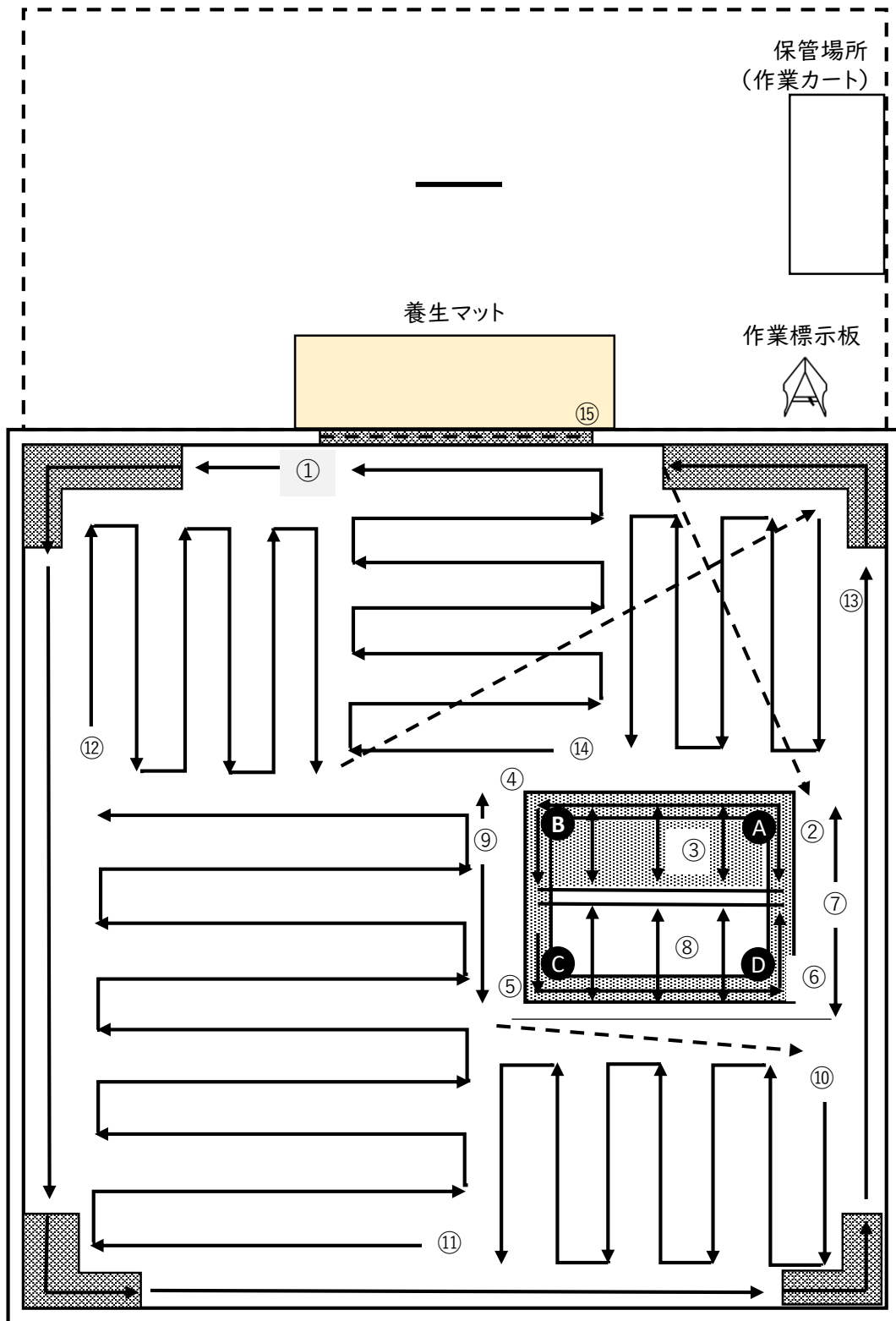
# 乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません。



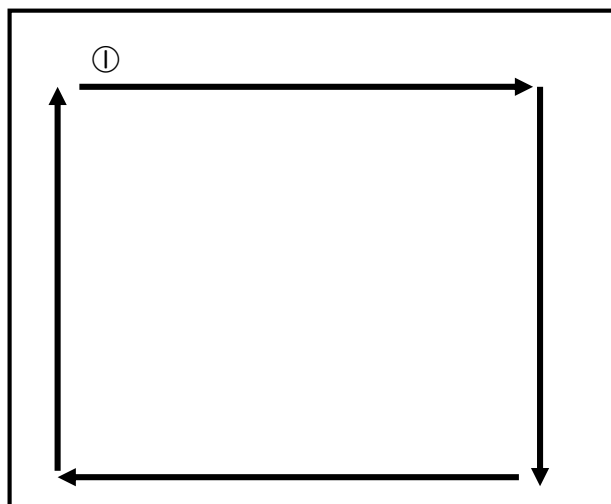
# 水拭きモップ作業手順



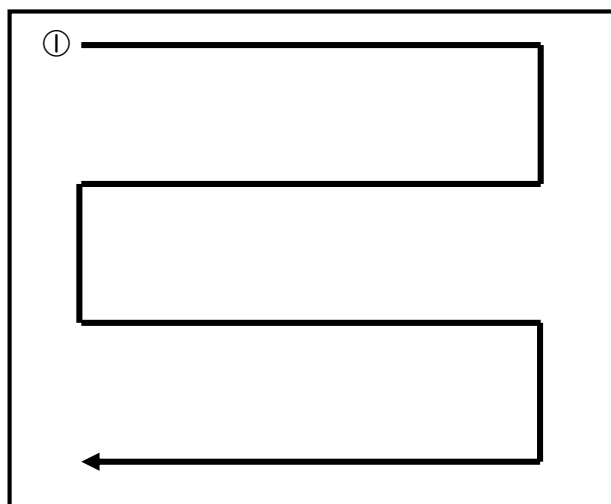
注: ■印は手を添える箇所を示す。水拭き回数を入れたものではありません。

- ①幅木側を1周すること(コーナーは手を添えます)
- ②Aの足回りを手を添えて拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④~⑥B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦机の脇(壁側)を拭く
- ⑧机の下を手を添えずに拭く
- ⑨机の脇(入口側)を拭く
- ⑩~⑭スパンを決めて拭く
- ⑮入口を手を添えて拭く

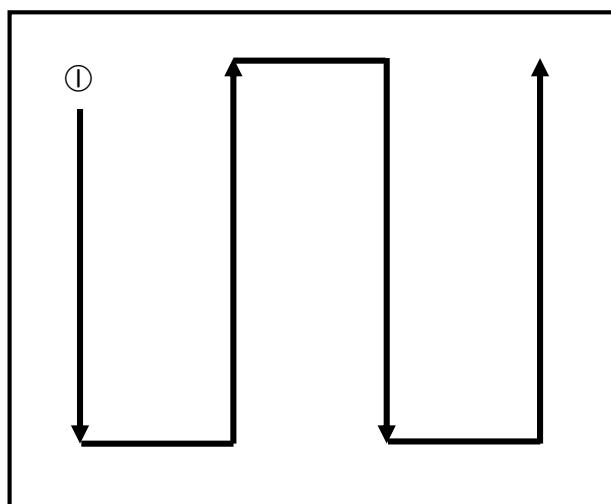
# 机上拭き作業手順



①四角、縁にそって拭きます。  
(その際、テーブル、机の縁も拭きます)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。  
(この時、拭きムラの無いように注意します。  
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。  
(この時、拭きムラの無いように注意します。  
また、上下の動きにより往復回数は異なります。)

④乾拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。